

5 / 7・21・24

アイガモロボ入水

水田で雑草の発生を抑えるために開発されたアイガモロボを、ファーム白谷ほ場、ノータス研究所ほ場、エコファームHOSOYAほ場の3か所で実証を行いました。高さ20cm全長80cmのロボットは稲と稲の間を自由に走行し、土を巻き上げることで雑草が生えにくくなるという仕組みです。これによって除草剤を使用しない有機農業を実現します。写真は7日ファーム白谷でのお披露目です。



5 / 10

移動販売スタート

広報5月号やちゃんねる日南等でもお知らせしていた、移動販売が町内の全地域での営業をスタートしました。既存のルートに加え山上・阿毘縁・多里を走った移動販売車は、5月に新規ルートのみで110の方が食品や日用品を購入されました。買い物に訪れた人は「車が無くなかなか買い物に行けなかったので嬉しい。楽しみに待っています。」と笑顔で話しました。合同会社ひまわり販売スタッフの高田美樹さんは「近くに商店が無く困っている人の力になりたい。集合場所に来ることができない人も求めているサービスだと思うので、相談をして伺えるようになるといいと思います。」と意欲を見せられました。



5 / 8

阿毘縁りんごリキュール試飲会



昨年4月に発売したもののすぐに売り切れ、再販を望む声が多く上がっていたりんごリキュールが今年も再販されることとなり、試飲会が行われました。開発に関わった阿毘縁特産グループ代表林富美代さん（阿毘縁）は「再販することとなったこのリキュールをたくさんの人に飲んでもらいたい」と語り、境港市の千代むすび酒造杜氏の岡空聡さんは「さわやかに飲んでもらうため果汁を多く配合し、“りんご感”のあるリキュールになっています」とこだわりを話しました。

5 / 13

「広島建設株式会社」 企業版ふるさと納税感謝状贈呈

注文住宅や大型建築物の施工・不動産を手掛ける広島建設株式会社（千葉県柏市）から、企業版ふるさと納税として410万円の寄附を2月にいただきました。

贈呈式では同社代表取締役の島田秀貴さんへ、町産材を使用した木製の感謝状と、同社イメージキャラクターを天板に刻印した積み木セットを記念品として贈呈いたしました。いただいた寄附金は町有林への新植活動と、林業アカデミーの運営に活用します。

島田さんからは、「日南町の森林整備事業などを通じた未来の森林資源への支援は、日本の林業や木材産業の発展につながる取り組みだと考えております。また、今回の寄附は林業アカデミーの運営にも支援を拡げさせていただきました。未来の日本の林業を支える人財の育成に繋がれば幸いです。建築用の木材は海外からの輸入が大半を占めている中で、国産材の普及や森林資源の循環活用のために、適切に「木」を使うこと、適切に「木」を育てることを通じた日本の林業の発展への貢献、また、適切な森林管理は土砂崩れなどの自然災害の抑制につながるため、森林の整備・保全活動はその地域に住まう方々の安心や安全にも寄与できる取り組みだと思い、この取り組みを継続して行くことを大切にしたいと考えております。木造建築を担う企業として、川下で木材を「使う」需要を築き上げていくことに加えて、「森林資源の循環」にも注力し、今後も多様な取り組みを続けてまいります。」とメッセージをいただきました。

